

# なかつか亮



区民の切実な願いを区政に届けます



500名もの特養ホーム入所待ち…

なぜ特養を必要数つくらないのか

品川区議会 予算議会はじまる

### 本会議にて

### 特養増設を提案

今年4月からの区予算を決める第一回定例会が2月19日から始まりました。

この中で共産党は区民の暮らしを支えるため、様々な提案を行っています。今回のニュースでは特養ホーム増設を取り上げます。

かつて品川区は「特養ホーム整備は終わった」などと説明し、月20万円以上もする高額な有料老人ホームを作ってきました。

こうした区に対し共産党は「有料老人ホームは高額で多くの区民は入れない。区は国民年金でも入れる特養ホームこそ」と提案。区民からは請願署名が議会に何度も出され、ついに区の方針が変わり、その後、区内に特養ホーム4ヶ所、老健施設1ヶ所を増設させました。

しかし必要とする介護需要にはまだまだ足りず高齢者人口も増える中、特養と老健施設の合計整備率※は23区で23位と最低です。

※高齢者100名に対するベット数の割合

# 要介護5でも入れない

# 80歳でも入れない

## 入所はわずか2割

年2回の特養ホーム入所申込み、毎回約500名もの高齢者が申し込み、早く入りたいと切実に待っているのが品川区の状況です。しかし、入所が決まるのは申込者の約2割で、8割の方が入所ができない、とても厳しい状況が続いています。こうした中、「要介護5でもCランク判定（入所不可）。いったいどうしたら良いのか」「80歳でも入れないとは。在宅介護も限界です」と切実な声が届いています。

名の特養ホーム待機者解消へ増設計画を持つべき」と提案しました。 **適正に対応する???** 質問に対し区の答弁は「適正に対応していきませう」と言うもの。これは聞いてることに答えているとは到底、思えません。

実は区は特養ホームの待機者を解消させる計画を持っていません。区の行政計画では定員27名の小規模特養をつくる計画が中心で、そのため答弁をはぐらかしたのだと思います。

特養ホームの増設は切実な区民の願いです。介護につめたい区政の転換へ頑張ります。

# コミュニティバス

## 今年度は試験運行ルートが決まります


区内を走るコミュニティバス導入に向けた検討が進められています。昨年は3回の検討会を経て、区民が必要としている行き先や、移動に不便を感じている地域などを調査。今年、いよいよ試験運行ルートが定められ、その後、試験運行が始まります。

### 地域の声が、実現の力に

コミュニティバス路線の導入へ、品川区議会では区民から何度も請願署名が提出されました。これまで賛成は共産、ネット、無所属のみで、請願署名は否決になりましたが、導入を求める強い区民世論が力となり、ようやくここまで検討を進める事ができました。移動に便利なコミュニティバス路線の実現へ、引き続き頑張ります。



渋谷区を走る「ハチ公バス」

なかつか亮 1975年品川区西大井生まれ／44歳／03年に27歳で初当選し、5つの常任委員会をはじめ、予算・決算委員会副委員長や行革特別委員会委員長を経験／区議5期／党区議団幹事長／家族：妻／29号線認可取消裁判原告／趣味：料理、旅行 

なかつか亮の駅前宣伝 火曜日朝7時半～大井町駅、金曜日朝7時半～西大井駅、土曜日夕方4時～大井町駅  
スタッフ募集：区政報告を駅前宣伝で配付して頂ける方を探しています。少しの時間だけでも助かります。